

令和 7 年度 事業実施状況

I 法人運営

1 組織運営

(1) 理事会、評議員会、監査会の開催

①第1回理事会（6月10日）

- ・ 令和6年度資金収支補正予算（第3次）の専決処理の承認について
- ・ 令和6年度事業報告及び決算の承認について
- ・ 定款の変更について
- ・ 表彰規程の改正について
- ・ 評議員候補者の推薦について
- ・ 役員選任議案の提案について
- ・ 評議員選任解任委員会委員の選任について
- ・ 福祉サービス事業運営審査委員会委員及び金銭管理財産保全サービス事業運営審査委員会委員の選任について
- ・ 令和7年度定時評議員会の招集について
- ・ 令和7年度資金収支補正予算（第1次）について

②第1回評議員選任・解任委員会（6月10日）

- ・ 規程類の改正について
- ・ 評議員の選任について

③第1回評議員会（6月25日）

- ・ 令和6年度資金収支補正予算（第3次）の専決処理の承認について
- ・ 令和6年度事業報告及び決算の承認について
- ・ 定款の変更について
- ・ 役員の選任について
- ・ 令和7年度資金収支補正予算（第1次）について

④第2回理事会（6月25日 書面決議）

- ・ 会長（理事長）1名選定の件
- ・ 副会長1名選定の件
- ・ 業務執行理事1名選定の件

⑤中間監査会（10月31日）

- ・ 上半期事業の中間監査

⑥第3回理事会（11月19日）

- ・ 令和 7 年度事業実施状況（中間）について
- ・ キャリアパス規則の一部改正（専決処理）について
- ・ 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
- ・ 令和 7 年度第 2 回評議員会の開催について

⑦第2回評議員会（12月3日）

- ・ 令和 7 年度上半期事業実施状況について
- ・ 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について

⑧第4回理事会（12月10日）

- ・ 評議員選任議案書面決議

⑨第5回理事会（3月11日）

- ・就業規則（正規職員・準正規職員・臨時職員）の改正
 - ・給与規程等の改正
 - ・令和8年度事業計画
 - ・令和8年度資金収支予算
 - ・令和7年度第3回評議員会の開催

⑩第3回評議員会（3月24日）

- ・令和8年度事業計画
- ・令和8年度資金収支予算

（2）内部委員会・検討会議・研修会

- ・社協職員代表者会（毎月）
- ・介護保険事業所、障がい福祉事業所経営改善検討会議（毎月）
- ・健康安全衛生委員会（毎月）
- ・健康安全衛生委員会主催研修会（年1回 10月2日）
- ・3課会（毎月）
- ・業務主任連絡会（隔月）
- ・感染症対策委員会/BCP（年2回 随時 7月22日・9月10日・10月8日・10月27日・3月18日）
- ・災害対策委員会/BCP（隔月 6月2日・8月8日・10月14日・12月18日・2月20日）
- ・防災連携会議（随時 12月16日・3月10日）
- ・虐待防止/身体拘束禁止委員会（年3回 随時 6月13日・10月17日・2月13日）
- ・ICT普及/業務改善委員会
（随時 5月27日・7月29日・9月30日・11月18日・1月22日・2月18日・3月10日）
- ・障がい福祉事業所連絡会（随時 4月28日・7月24日・11月25日・2月26日）
- ・入職時新人研修（4月1日・随時）
- ・社協職員全体研修（11月5日）
- ・係長研修（7月8日）
- ・主任研修（6月17日）
- ・第三者委員会（6月27日）
- ・苦情対応システム研修会（第三者委員/社協職員 年1回 10月17日）
- ・上伊那ブロック社協職員研修会（年1回 11月21日）
- ・上伊那ブロック社協会計・庶務介護保険等事務部会（年1回 3月16日）
- ・上伊那ブロック社協デイサービス部会（年1回 3月11日）
- ・上伊那ブロック社協ヘルパー部会（5月20日・7月12日・11月8日・2月15日・3月10日）

（3）社協会費

【納入状況】

① 一般・特別会員会費

6月文書配付で依頼（区・自治組合により集金）

- ・一般会員会費 (1,000円／世帯) 5,743世帯 (5,710世帯)
- ・特別会員会費 (2,000円／世帯) 106世帯 (120世帯)
- ・加入率 67.6% (67.2%)

計5,955,500円 (5,944,280円)

② 賛助法人会員会費

6月納入通知書郵送

会費一口3,000円 314法人送付 266法人納入

計867,000円 (885,000円)

【会費の使途】

- ・地区社協活動費（地区の集金額に応じ、30%を還元）
- ・地域福祉事業（ボランティア活動支援、福祉教育、サロン活動支援等）

2 啓発事業等

- ① 社協報「社協こまがね」配布5回(4月・7月・10月・1月・3月発行)
- ② 第38回ふれあい広場 9月7日(日) ふれあいセンターにて開催 45団体 約800名
ボランティア団体等の活動展示、障がい者就労支援施設製品等販売、ステージ発表等
- ③ 視察研修受け入れ及び交流 山ノ内町社協 9月19日 12名
住民主体の生活支援の活動について情報交換
- ④ 宮城県女川町社会福祉協議会(友好都市社協)との交流 役職員7名来訪 9月29日～10月1日
駒ヶ根市社会福祉協議会並びに女川町社会福祉協議会役職員交流研修会 9月30日 16名
- ⑤ 福祉避難所移行訓練 大原こだま園 10月10日
福祉避難所運営訓練 竜東やまびこ園 10月18日
- ⑥ 上伊那圏域介護保険事業者研修会(参加型オンライン開催) 11月14日 参加35事業所
- ⑦ 第74回長野県社会福祉大会「信州ふっころフェスティバル2025」11月15日
表彰状授与 個人ボランティア表彰 5名・永年勤続表彰 2名
- ⑧ 第6回災害ボランティアセンター開設運営訓練 令和8年1月21日 42名
「地域とともに 災害時のボランティアの活躍」 県社協ボランティアセンター山崎氏
- ⑨ 第62回駒ヶ根市社会福祉大会 令和8年2月15日(日) 赤穂公民館にて開催 220名
・表彰状授与 民生児童委員表彰 6名・社会奉仕個人9名・1団体・高額寄付個人2名・5団体
・駒ヶ根市共同募金会感謝状授与 2団体
・「ミュージカルサークル 煌」ステージ発表

II 地域福祉振興事業

1 相談事業・権利擁護・アウトリーチ等事業

(1) 相談事業

- ① 心配ごと相談
 - ・民生児童委員 4人が交代で：毎月開催 4件(5件)
 - ・弁護士 4人が交代で：3ヶ月に1回(年4回) 16件(15件)
 - ・司法書士会による相談(毎月第4木曜日年12回) 利用者数 62件(63件)
- ② ふれあいよろず相談(ふれあいのまちづくり事業)
 - ・相談利用者数 270人(312人)

【相談内容内訳】

生活福祉資金貸付(県) 19、生活資金貸付(市) 19、日常生活自立支援 18、独自金銭管理・財産保全 5、食糧支援 122、あんしん創造ねっと 18 成年後見 7

(2) 金銭管理

- ① 日常生活自立支援事業(県社協受託 2,014千円 利用料 766千円)
認知症や障がいなどにより判断能力に不安がある人が、地域で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理、大切な書類の預かりなどを、本人との契約に基づいて行った。



契約総件数（R8.3月末現在）41件（42件）

- ・令和7年度新規契約者 4件（5件）
- ・新規契約者内訳（精神障がい 3・知的障がい 0・認知症 1）

② 金銭管理サービス（市独自）

身体的理由による金銭管理

利用件数 4件（6件）内、財産保全サービス利用件数 1件（3件）

（3）成年後見事業

認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な人に代わり、財産管理（預貯金の管理、年金の受給等）、身上監護（介護サービスの利用契約や施設への入所手続き、医療に関する契約等）を行った。

- ・法人後見受任件数 年度末9件(10件) 後見4件(6件)・保佐3件(3件)・補助2件(1件)
(終了2件、新規1件)
- ・運営委員会開催 1回(7月29日)
- ・受任審査会 0回

2 生活困窮者支援

（1）生活福祉資金貸付幹旋（県社協受託）

低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯を対象に、資金の貸付と相談支援を通じて生活の立て直しを図るため、経済的自立をサポートした。

- ・資金利用者（年度末現在） 0件（0）
- ・福祉資金（緊急小口資金） 0件（0）
- ・総合支援資金 0件（0）
- ・福祉資金 0件（0）
- ・教育支援資金 0件（0）

（2）生活福祉資金特例貸付後の相談支援体制強化事業（県補助事業 6,330千円）

コロナ禍で生活に困窮した方への国の特例貸付（R2.3/25～R4.9月終了）償還が終わるまで、貸付者181人（311件）の生活状況の実態把握を行った。 176人（162）/181人

（3）生活資金貸付事業（市社協独自）

【貸付金の状況】

- ・新規貸付件数 1件（6件）
- ・新規貸付金額 20,000円（140,000円）
- ・償還回収件数 15件（11件）
- ・償還金額 110,000円（124,000円）
- ・年度末貸付件数 10件 未償還金額290,000円
- ・不能欠損 0人



（4）フードバンク事業

生活福祉資金特例貸付事業（コロナ特例貸付）利用者や、よろず相談、生活資金貸付相談等でつながった方、制度につながっていない世帯に対し食料品・日用品の支援を行った。

4月から新たにファミマフードドライブと提携。（ファミマFD 寄付分 81.15 kg）

- ・フードバンク（寄付して頂いた分）105件（100件）2,689 kg（3,723 kg）
- ・食料支援 141件（138件）1,288 kg

3 重層的支援体制整備事業（アウトリーチ事業）（市受託事業 10,757 千円）

複雑化・複合化した支援ニーズがあるものの、必要な支援が届いていない引きこもり等の潜在的な相談者を、各種会議や関係機関とのネットワークの中から把握し、本人との信頼関係を築きながら継続的な支援を実施した。

- ・相談件数 21 件（16 件）（1 件終結）
- ・広報 各地区社協の会議・支え合い推進会議・ふれあい広場・民児協・サロン・他

4 重層的支援体制整備事業（参加支援事業）（市受託事業 5,618 千円）

参加支援の場づくり：地域活動支援センター、プチバイト等新たな居場所を創設し、アウトリーチ利用者が社会と何らかのつながりを持つことを念頭に支援を行なった。

5 各種福祉サービス等

（1）移送サービス（福祉有償運送）（障がい者等生活圏拡大事業）

高齢や障害などにより、単独で電車やバス、タクシーなどの公共交通機関を利用することが困難な方を対象とし、有償運送を行った。

延べ利用回数

- ・有償運送 1,424回（999回）
- ・車両貸出 121回（97回）
- ・登録利用者数 60人（89人）
- ・協力ボランティア 17人（19人）

【主な利用】通院、買物、行楽等



（2）生活圏拡大事業（マイクロバス29人乗貸出）

- ・地区社協4件（3）サロン4件（3）ボランティア団体1件（0）
- ・障がい者等当事者団体5件（2）高齢者6件（4）学校4件（4）合計24件（18）

※ 地域への貸出しは原則土日祝祭日のみ。（平日は伊南桜木園送迎用として使用）

（3）こまちゃん宅福便

住民が会員となり相互に助け合う有償の生活支援事業として、利用者と協力会員の調整を行った。

- ・登録者 125人（協力会員38人・利用会員87人）（R6協力会員38人・利用会員73人）
- ・利用件数 延べ1,166件（前年度1,023件）
- ・利用状況 ①病院付添274件②買い物付添201件③買い物代行167件④話し相手68件⑤掃除66件⑥調理41件⑦洗濯55件⑧ゴミ出し21件
- ・宅福便の交流会 令和8年3月12日 12名参加

（4）高齢者世帯等家庭援助員等派遣事業（市受託事業）

①高齢者世帯等家庭援助員ヘルパー派遣

高齢者家庭援助世帯 0世帯/年 利用回数 0回/年（週3時間以内月～金）

②高齢者世帯等生活支援員派遣事業

利用者1人 延べ派遣件数24件 24時間 支援員1名

（5）ハッピーママサポート事業（市受託事業）

- ・出産家庭ヘルパー派遣 3世帯（30回）



(6) ふれあいセンター管理 (市指定管理施設)

・室利用状況 延べ379団体 (279団体)

(7) シルバーハウジング生活援助員派遣 (市受託事業 2,094千円)

【入居対象世帯数】 19世帯

【稼働日】 月曜日～金曜日 (祝祭日は除く)

【主な事業内容】

- ・生活相談・一時的な家事援助・緊急時の対応
- ・安否確認 (住居巡回訪問) 1日2回 (9:00～/15:00～)
- ・その他日常生活に必要な援助

【職員配置】 専従常勤正規職員 (介護福祉士) 1名配置



日常生活援助

(R6年度)

入居	2件(0件)	身体介護	合計	68件（479件）
退居	2件(0件)	【支援内容】 服薬確認・湿布貼り他手当（消毒）		
緊急通報合計	12件(8件)	排泄介助・入浴介助		
誤報	1件(0件)	食事介助・救急搬送（移動介助）		
鍵入れ忘れ	1件(0件)	相談・生活指導（居宅）合計		2,870件 (3,978件)
水センサー作動	8件(4件)	【支援内容】 安否・体調確認・水分補給・声掛け		
不明・その他	2件(4件)	換気・冷暖房使用声掛け		
家事援助合計	114件(230件)	困りごと・苦情聞き取り		
【支援内容】 ゴミ出し・洗濯・布団干し		相談・生活指導（団ら室）合計		896件（869件）
外出準備・声掛け		【支援内容】 血圧測定		
食事準備・摂食声掛け		書類等の代筆提出等		
集金・郵便物届け		困りごと・苦情聞き取り		
団らん室利用状況		レクリエーション・カルチャー等		39件（29件）

【施設整備】

- ・緊急システム点検 (愛知時計) 年1回 9月29日実施
- ・愛知時計システム撤去 令和8年3月12日～16日
- ・新システム (アルソック) 合同説明会 令和8年3月27日

【地域連携】

- ・町3区サロン「和みカフェ」 26回 実施
折り紙を楽しむ会 18回
4/24・5/29・6/26・7/10・8/21・9/25・10/8・10/23・11/11・11/27・12/9・12/25
1/13・1/29・2/10・2/26・3/10・3/26
認知症について学習会 1回 6/25
フレイル予防 (食事) 学習 7回 9/9・10/21・11/18・12/16・1/20・2/17・3/21
- ・スマホ教室 13回 実施
4/17・4/25・5/15・6/19・7/3・8/7・9/18・10/30・11/20・12/4・1/15・2/19・3.17

6 福祉活動・ボランティア活動の振興

(1) ボランティア活動支援

- ① 福祉を考える企業の会 (事務局) 協力会員数 120社 (122社)
 - ・総会と講演会のタベ 6月18日 39名出席
講演「令和6年能登半島地震を踏まえて」講師 能登町社会福祉協議会職員
- ② ボランティア保険 助成 523名 (1,022名)

- ボランティア連絡調整、育成支援・登録団体 26 助成団体 20 グループ
- ・上伊那ブロックボランティア交流研究集会 11 月 15 日開催 20 名参加
駒ヶ根市からは「おり姫倶楽部」が活動見本市出展
- ③ ボランティア連絡協議会開催
 - ・理事会 (5 月・7 月・9 月・3 月実施)
- ④ 外国人支援活動 (地球人ネットワーク in こまがね・日本語教室との協力)
- ⑤ 当事者(障がい者)支援
 - ・虹の会(視覚障がい者)総会 会員数 3 名 (4 月 23 日 14 名参加)
 - ・さくらんぼ狩り (6 月 28 日 6 名)・ぶどう狩り (10 月 5 日 6 名)
 - ・忘年会 (12 月 12 日 8 名) ・新年会 (1 月 30 日 8 名)

(2) 福祉教育活動支援

- ① 福祉教育推進校指定 市内 9 校への助成・推進校会議 2 回 (5 月 19 日、3 月 9 日)
ボランティアスクール
 - ・赤穂中学校 3 学年総合的な学習の時間対応
 - ・赤穂小学校全校ふれあいの日 (4 学年: 視覚障がい者の理解、ボッチャ・5 学年: 手話、展示)
 - ・東伊那小学校 4 学年 (手話体験、異文化理解・交流)
- ② 福祉教育支援 5 小学校 2 中学校 2 高等学校 ※助成金 50,000 円
(総合の時間・福祉学習支援・クラブ活動支援)
- ③ わくわく体験 in summer(夏休み福祉体験) 8 月 5 日 (火) ~8 日 (金)
 - 1 日目「認知症ってなあに」
 - 2 日目「郷土料理を作ろう 五平餅づくり」
 - 3 日目「みんなで作ろうスペシャル赤い羽根募金箱」
 - 4 日目「やってみよう! ぼっちゃ体験」 ※児童、生徒、ボランティア計 171 名参加

7 住民参加による地域福祉・支え合い事業の推進

(1) 生活支援体制整備事業 (市受託事業)

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、地域の支え合いの仕組み (地域包括ケアシステム) づくりを行た。

- ・第 1 層生活支援コーディネーター (1 名)
- ・エリアコーディネーター (5 名 係長、第 1 層 SC 含む) 配置
- ・第 2 層生活支援コーディネーター、支え合い推進会議 (協議体) との連携、生活支援の仕組みづくりの推進、個別ケース相談 (延べ 226 件)
- ① 地区社会福祉協議会連絡会事務局
 - 第 1 回 (5/16) 社協の体制、支え合いの地域づくりについて
ふれあい花壇 育苗ボランティア 1 名 配布総数 9,135 本 (10,290 本)
- ② 第 2 層生活支援コーディネーター連絡会事務局
 - 第 1 回 4/3 委嘱式、生活支援コーディネーターの役割、生活支援体制整備事業について
- ③ 地区社協・第 2 層 SC 合同連絡会 (第 2 回目より①と②を合同で開催)
 - 第 2 回 7/15 支え合いの地域づくり勉強会
生活支援体制整備事業について、支え合推進会議について
(区長、地区社協会長、第 2 層生活支援コーディネーター、民生児童委員 57 名参加)
 - 第 3 回 8/8 地域づくり、生活支援に関する情報交換
 - 第 4 回 11/21 地域で行われている生活支援の取組紹介、グループワーク
 - 第 5 回 1/28 認知症サポーター養成講座体験
 - 第 6 回 3/11 地区社協・支え合い推進会議に関する書類についての説明

- ④ 支え合い推進会議への出席 49回、第2層SC相談、支援、書類作成サポート随時
 - ⑤ 第1層支え合い推進会議企画、運営
 - 第1回 7/30 外出支援に関する協議、市と共同し「外出手段」に関するアンケートを実施
 - 第2回 2/19 アンケートの報告、「互助活動の支援、推進のための取組み」「こまたく、割引タクシー券の利用・活用推進のための取組み」について協議
 - ⑥ 高齢者及び障がい者等に対する廃棄物収集事業 10件（3件）
 - ⑦ サロン、通いの場等運営支援 42回（52回）
 - ※体操、レクリエーション、モルック、歌、楽器演奏など実施
 - ⑧ 介護に関する入門的研修（R7年度から市受託事業）11/17, 11/20 実施
 - ⑨ サービスB従事者研修 3名受講
- ※生活支援の取組地区 7年度新規1区、8年度開始2区 合計8区

(2) 認知症事業（R7.4月～市受託事業）

「新しい認知症観」の普及を図り、認知症に対する正しい理解を深めるとともに、当事者の声を発信しやすい環境づくりを行った。

- ① みんなが“ほっとなる”語らいの場 13:30～15:30 アルパ3F多目的ホール
 - 認知症カフェ、認知症について学び、語り合うことで地域の認知症の理解を広めることを目的とし、認知症本人、家族、専門職がつながる機会となっている。
 - ・6月「駒ヶ根市の福祉サービスを知ろう」講師：地域支え合いネット、駒ヶ根市社協 参加者21名
 - ・8月「その人なりの認知症」講師：認知症サポート医 下島秀一先生 参加者21名
 - ・9月「ふたつのそうぞく～相続と争族のはなし～」講師：明治安田 小芦淳一様 参加者38名
 - ・10月「認知症について」講師：昭和伊南総合病院リハビリテーション科 山口浩史先生 参加者45名
 - ・12月「在宅看取りの語りの場」
 - 講師：昭和伊南総合病院訪問看護ステーション 太田美緒様
 - 伊南訪問看護ステーション 関口ひかる様
 - 介護経験者 下島千枝様 参加者37名
 - ・R8.2月「認知症予防体操・脳トレ」
 - 講師：駒ヶ根市役所地域保健課地域包括支援係 理学療法士 青柳佑汰様
 - 参加者25名
- ② 認知症当事者交流会「鈴の音」毎月第3土曜日 13:30～15:30
 - アルパ3F多目的ホール 12回開催 265名参加
 - 認知症本人と家族、支援者がボッチャを通じて交流を行っている。
 - 地域包括支援センター、社協職員の参加もあり、仲間づくりと相談の場になっている
- ③ 認知症本人ミーティング「うきうき会」毎月第2木曜日 14:00～15:30
 - クロスライフ 12回開催 56名参加
 - 認知症の本人を中心とした交流会。本人同士で思いを語り合う場であり、やりたいことに挑戦し、周囲に理解を求める声を上げる機会
- ④ 認知症介護者の集い 毎月第4土曜日 14:00～15:30 アルパ3F大会議室
 - 12回開催 120名参加
 - 認知症の人を介護する家族者交流の場。介護者同士だから話せること、介護についての情報交換、交流を実施。
- ⑤ 啓発イベント（全市民向け）
 - 9/13（土）ベルシャイン駒ヶ根店 メロディー広場にて「認知症ってなあに？」約60名参加
 - 認知症基本法、絵本「おじいちゃんの手帳」朗読など実施
- ⑥ 認知症サポーター養成講座開催 19団体 計331人受講

- ⑦ 認知症ステップアップ講座 2回
 ⑧ 認知症事業に関わるボランティア交流会 5/21（水）9：30～11：30 50名参加
 ⑨ 認知症キャラバンメイト連絡会 7/3（木）9：30～11：30 キャラバンメイト
 20名参加
 ⑩ おれんじネット通信 8月、R8.1月発行
 ⑪ チームオレンジ交流会 11/6（木）33名参加

8 共同募金配分金事業

(1) 共同募金配分金収入 4,227千円（R6年度実績に基づいた配分金額）

(2) 実施事業

- ① 社協報発行
- ② 夏休み福祉わくわく体験
- ③ 地域見守り支え合い事業
- ④ 地域リーダー養成講座
- ⑤ 生活困窮者食糧支援
- ⑥ 高齢者の集い（各地区社協で実施）



(3) 配分事業

- ・地区社協育成、高齢者クラブ連合会、
- ・福祉団体・ボランティア団体助成、
- ・ふれあい花壇助成、地域見守り支え合い助成
- ・ふれあい広場助成
- ・特別支援学級教材教具助成
- ・児童遊園遊具補修 1地区、砂場の砂補充 0地区
- ・公募枠助成 1団体



9 善意銀行関係事業

(1) 預託の状況（R7.4月1日からR8.3月31日）

(1) 現金の部	一般預託 53件 2,362,648 児童福祉事業へ 5件 730,084 (事業所指定寄付) なし	3,092,732 円
(2) 物品の部	・白米、玄米、食料品、防災食、タオル 等	

(2) 払出の状況

(1) 現金の部	① サロン支援・食糧支援車 ・ガソリン代、任意保険、軽自動車税、点検 等 ② 援護費 ・NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ活動費 助成9万円 ・てんとう虫の会活動費 助成10万円 ・あすなろ子ども食堂開設事業費 助成10万円 ・あすなろこども食堂 運営費 助成30万円 ・つなぐ♡HUB 運営費10万円
(2) 物品の部	食料支援、子ども食堂等へ提供

Ⅲ 介護保険事業（一部障がいサービス含む）

1 ふれあい訪問介護事業所

生活援助・身体介護 年中無休 24時間体制



（１）利用実績

種 別		利用人数・世帯 (毎月の実利用人数、世帯の計)			利用回数		
		R5	R6	R7	R5	R6	R7
介護保険	要介護(1～5)	620人	481人	420人	8,140回	4,951回	4,439回
	現行相当	64人	87人	104人	382回	556回	736回
	訪問介護A	165人	141人	115人	650回	506回	364回
障がい者	身体障がい者世帯	5世帯	5世帯	3世帯	1,042回	964回	875回
	知的障がい者世帯	8世帯	8世帯	12世帯	901回	577回	800回
	精神障がい者世帯	16世帯	17世帯	16世帯	1,219回	1,141回	1,092回
	移動支援（通院介助）	0世帯	3世帯	3世帯	55回	31回	28回

要介護 通院乗降介助 1(3)世帯 延べ 12(182)回

【施設整備】

- ・ICTの活用（記録ソフト導入による生産性向上）

導入費用（５年分）1,970千円（県介護テクノロジー定着支援補助金 632千円）

【地域連携】

- ・事業を通し係る地域住民へ社協事業、介護、障がい福祉等の必要な情報提供をする

（２）決算（事業活動計算書）

(千円)

種 別		R5	R6	R7	増減 (R7-R6)
サービス活動収益	介護保険訪問介護	32,895	23,672	20,830	△2,842
	障がい居宅介護	12,825	12,997	13,585	588
	計	45,720	36,669	34,415	△2,254
サービス活動費用計		46,948	36,983	37,507	524
サービス活動増減差額		△1,228	△314	△3,092	△2,778
当期活動増減差額		△2,071	△1,581	△3,774	△2,193

【増減の要因】

○介護保険

- ・人員体制に見合った受け入れの調整の訪問件数減。それに伴う減収。
- ・身体介護の訪問の減少による減収。

○障がい者

- ・日中活動があるため、夕方に訪問が集中する。そのため人員確保ができないため受け入れが難しい。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度下半期力を入れて実施する内容】

○介護保険

- ・人員の安定・確保。ショート利用・入所が増える下半期、現状の稼働率の維持に努める

○障がい者

- ・困難事例を積極的に受け入れる。
- ・困難事例に対応できるよう、専門知識や技術の資質向上を主とした研修に参加できる環境を整える。

【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

- ・効率の良い、訪問のシフト体制の整備。
- ・ICTの活用でのペーパーレス化の促進とサービス提供責任者の業務軽減（残業時間の削減）

2 社協居宅介護支援事業所

主任ケアマネジャー2名 ケアマネジャー3名 特定事業所加算Ⅲ 24時間電話対応

（1）利用実績

介護種別	延べ人数（人）			月平均数（件）		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
介護	1,513	1,547	1,658	126	129	138
現行（予防）	26	28	21	2	2	1.75
総合事業	0	0	0	0	0	0
合計	1,539	1,575	1,679	128	131	140
来所による介護相談	8件	3件	6件			

【施設整備】 PC2台更新

【地域連携】 ・中沢民生ミーティング（隔月） ・中沢支え合い推進会議

・やまびこ茶屋（4・6・8・12月） ・地域サロン参加

・市ケアマネ連絡会（隔月） 民生委員・SCとの交流含

（2）決算（事業活動計算書）

（千円）

種 別	R5	R6	R7	増減（R7-R6）
サービス活動収益	28,073	26,844	29,303	2,458
サービス活動費用計	25,144	25,120	26,575	1,237
サービス活動増減差額	2,929	1,724	2,728	1,004
当期活動増減差額	1,980	691	1,783	1,092

ケアプラン



【増減の要因】

- ・利用者増による収入増。
- ・減車による支出減。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】

- ・業務効率化に向け、ICTの取り組みに力を入れていきたい。（連携システム運用等）
- ・引き続き丁寧な利用者対応に心がけていく。

【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

- ・冬場は施設利用者が増えるため、1年を通した時に目標値が達成できるよう努める。

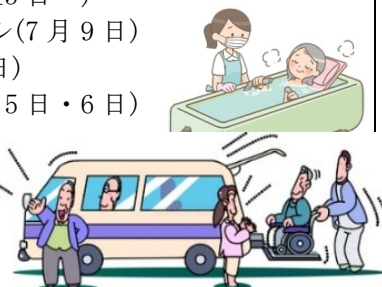
3 大原こだま園通所介護事業所

地域密着型通所介護 利用定員 18 名（通所型 A6・基準該当生活介護含む）
 利用定員外 若干名（通所型 A7/自費利用通所介護）

（１）利用実績

事業実施日数 308 日（303 日）
 機能訓練実施日数 149 日（125 日）
 延べ利用者数 4695 人（4035 人）
 平均介護度 2.2（2.5）

区 分	要介護	現行相当 A6	通所型 A7	障がい （基準該当）	自費 利用	合 計		
						R5	R6	R7
現在契約数	39	8	8	4	1	46	50	60
延べ利用者数	3,109	595	443	494	54	4,311	4,035	4,695
1 日平均利用者数	10	1.9	1.4	1.6	0.17	14.28	13.31	15.24
一般入浴利用者数	1,920	545	253	143	51	2,900	2,621	2,912
特殊入浴利用者数	848	0	0	98	0	833	913	946
1 日平均入浴者数	8.9	1.7	0.8	0.7	0.1	12.4	11.6	12.5
機能訓練延べ人数	909	0	0	0	0	0	472	909
1 日平均訓練者数	6.1	0	0	0	0	0	3.7	6.1
平均稼働率	延べ利用者数÷事業実施日数÷定員 18 名＝84.6%（73.9%）							
地域交流 地域貢献	延べ 167 日・延べ 383 名（2.2 人/日） ・団体ボランティア（102 団体 302 名） ・個人ボランティア（65 回 81 名） ・運営推進会議（6 月 17 日、R8 年 3 月 18 日） ・障がい者グループホームほほえみの家合同防災避難訓練（9 月 23 日） ・福岡区高齢者クラブ環境整備（9 月 20 日 12 名） ・赤穂南小 5 年 2 組交流（9 月 11 日、10 月 1 日、11 月 26 日、12 月 24 日、1 月 22 日、3 月 9 日 延べ 170 人） ・通常営業からの福祉避難所への移行訓練（10 月 10 日）							
体験・実習・研修	・飯田短期大学実習 5 月 9 日・12 日・13 日・15 日・16 日・19 日～23 日 延べ 10 日 10 人 ・青年海外協力隊 5 月 23・30 日、10 月 3 日・10 日、2 月 6 日・13 日 延べ 18 人 ・長野県公衆衛生専門学校実習 10 月 29 日～31 日、11 月 4 日～6 日 延べ 12 名 ・駒ヶ根市立 東中学校職場体験 7 月 7 日～7 月 9 日 延べ 3 人 【職員研修受講状況】：認知症実践者研修 1 名、介護支援専門員資格取得 1 名、福祉職員生涯研修（中堅職員過程 1 名・チームリーダー過程 1 名・新任管理者過程 1 名）、新人育成担当者研修 1 名、防火管理者講習会 1 名、食品衛生責任者研修 1 名、苦情対応システム研修 1 名受講							
行 事	お花見弁当（4 月 7 日～12 日） 馬見塚公園お花見散歩（4 月 14 日～19 日） 五平餅作り（5 月 19 日～24 日） こだま菜園（5 月 15 日～） アニマルレクリエーション（7 月 8 日） 福祉ネイル（7 月 9 日） 大原こだま園・ほほえみの家合同夏祭り（8 月 23 日） おはぎ作り（9 月 16 日～22 日） 干し柿作り（11 月 5 日・6 日） 紅葉ドライブ（11 月 11 日・14 日・15 日） 繭玉作り（1 月 15 日・16 日） ぼたもち作り（3 月 毎月 1 回：こだま食堂、リラクゼーション DAY							



施設整備等	・9月 館内Wi-Fi 設置工事 ・12月 館内業者清掃 ・1月 特浴機器業者点検 [随時] 送迎車両 車検、定期点検、修理 夏・冬タイヤ更新 車イス、歩行器等 介護用品の点検、補修、更新 日常設備点検、環境整備、防災用品感染症対策用品の購入、更新、浴槽水質検査
-------	--

(2) 決算（事業活動計算書）

(千円)

種 別		R5	R6	R7	増減 (R7-R6)
サービス活動収益	介護保険	42,267	40,779	44,122	3,343
	障がい福祉	2,726	3,495	3,425	△70
	補助金等	338	50	167	156
	計	45,331	44,324	47,714	3,429
サービス活動費用計		46,221	46,952	46,754	△535
サービス活動増減差額		△890	△2,628	960	3,588
当期活動増減差額		△1,271	△3,116	416	3,532

【増減の要因】

- ・付加価値のあるサービスの提供等により、新規利用者の依頼、1人あたりの利用回数増に繋がった。また、変更申請に伴い、要介護→要支援や介護度の軽減に繋がった方もおり、デイサービスとしての役割を担う事ができた。反面、要支援者及びサービスAの利用希望が多く受け入れ、利用者数が収入金額に反映されていない状況が続いている。
- ・基準該当生活介護利用者の継続的に受け入れを行う事ができた。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】

- ・引き続き、各関係者に空き情報を流し、新規利用者確保と利用回数の増に取り組んでいく。
- ・理学療法士と看護師の配置に伴う、適切な機能訓練の提供及び加算対象者増の推進。
- ・利用者、家族ニーズにマッチした柔軟な利用方法の提案、提供に努める。
- ・他の地域密着型通所介護事業所でない「こだま園強み」である特浴設備、介護支援専門員、看護師の常勤配置、及び理学療法士の配置された地域密着型通所介護として、困難ケース・重度者・医療ニーズ・ターミナル期・機能訓練希望を積極的に受け入れ、社会的役割を果たす。
- ・行事や日々の過ごし方等の中で、常に新しい事に取り組み、利用者さまやご家族さま・各関係者の世代ニーズに沿った、「毎日でも来園したくなるようなデイサービス」を目指していく。
- ・毎月の実績やモニタリングの配布の方法等の見直しやより効果的な広報の在り方の研究、強化、拡充をはかる。
- ・ICTの活用による業務負担軽減と適正な広報による集客、小さな無駄を省き、積み重ねによる経費削減を両立する。

【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

- ・口腔機能向上加算算定に向けた検討
- ・上位加算である「個別機能訓練加算Ⅱ」算定に向けた準備、届出申請
- ・「基準該当自立訓練（機能訓練）」の算定に向けた協議、検討、届出申請

4 竜東やまびこ園通所介護事業所

通常規模型通所介護 利用定員

39名(通所型A6含む)

利用定員外 若干名(通所型A7/自費利用通所介護)

(1) 利用実績

事業実施日数 257日(257日)
機能訓練実施日数 256日(252日)
延べ利用者数 7,853人(7,406人)
平均介護度 2.6(2.5)

区 分	要介護	現行相当 A6	通所型 A7	自費利用	合計		
					R5	R6	R7
現在契約数 (人)	59	7	5	0	63	67	71
延べ利用者数 (人)	7,269	438	146	0	7,768	7,406	7,853
1日平均利用者数 (人)	28.3	2.0	1.9	0	30.3	28.8	32.2
一般入浴利用者数 (人)	5,487	340	96	0	6,382	5,809	5,923
特殊入浴利用者数 (人)	1,028	0	0	0	863	1,197	1,028
1日平均入浴者数 (人)	25.3	1.3	0.3	0	28.2	27.2	26.9
機能訓練延べ人数 (人)	6,519	545	126	0	6,933	6,611	7,190
1日平均訓練者数 (人)	25.3	2.1	0.4	0	27.1	26.2	28.1
平均稼働率	延べ利用者数÷事業実施日数÷定員39名=78.3%(73.8%)						
地域貢献	中沢支え合い推進会議、地域サロン等参加協力6/27ほのぼの花桃7/25東伊那サロン8/20垣外サロン9/17上手西サロン10/15原カップふれあいサロン11/15下割サロン12/15大曾倉サロン3/6火山ほっこりサロン)、物品貸出、周辺草刈り、ゴミ拾い、地域内独居高齢者見守り支援等の活動、自費昼食提供、災害対応自動販売機設置、豪雨災害時一時避難所指定 他						
やまびこ茶屋	4月19日(土)21名 6月14日(土)21名 8月9日(土)23名 10月18日(土)15人 12月13日(土)23人 計105人						
地域交流	・延べ705人(3.4人/日) 利用者家族・保育園児・小、中高生・青年海外協力隊(5/23、5/30、10/3、10/10、2/6、2/13延べ207日)地域個人、団体ボランティア、地域交流①中沢駐在所荻原弘樹さん講話(8/26)②本曾倉上村秀一さん講話(8/27)ふれあい花壇植え付け(6/1 37名参加)東中ふるさと学習(5/9、19名9/12)						
体験・実習・研修	社会福祉士実習生見学受入、赤中生5/28~30 2名、東中生7/7~9 1名 入門的研修職場体験3名						
施設整備等	・6月 ふれあい花壇整備・周辺道路草刈り作業・環境整備 ・7月 ボイラー定期点検 特殊入浴機械点検 ・2月 一般浴ボイラー減圧弁取替工事 ・3月 消防設備点検 [随時] 送迎車両 車検、定期点検、修理 夏・冬タイヤ更新、イス、歩行器等用品の点検、補修、更新 日常設備点検、環境整備、防災用品、非常食等対策用品の購入、更新 浴槽水質検査 庭木の剪定						

(2) 決算(事業活動計算書)

種 別	R5	R6	R7	増減 (R7-R6)
-----	----	----	----	------------



サービス活動収益	介護保険	82,893	80,715	85,305	4,590
	補助金等	524	64	235	171
	計	83,417	80,779	85,540	4,761
サービス活動費用計		82,927	79,220	83,035	3,815
サービス活動増減差額		490	1,559	2,505	946
当期活動増減差額		△1,552	△798	327	1,170

【増減の要因】 ・地域サロンに介護保険制度・健康・栄養・運動に関する啓蒙活動に参加できた ・ショートステイや体調不良、都合の利用キャンセルが多かった ・冬季の入所者が多かった
【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】 ・地域福祉係と協働し竜東地区サロンへ啓蒙活動としての参加を続けていく ・感染症対策や衛生管理の徹底 ・利用者アンケートの意見を参考に利用者のニーズに合わせた個別ケアの提供を行う

IV 障がい者福祉事業

1 障がい者就労支援センター 伊南桜木園（駒ヶ根市指定管理施設）

就労継続支援B型事業 定員25人

（１）利用実績

	R5	R6	R7
実利用者数	31人	35人	36人
開所日数	246日	249日	248日
延べ利用者数	6,354人	7,491人	7,005人
1日平均利用者数	25.8人	30.1人	28.3人
稼働率	103.2%	120.4%	113.2%



（２）事業及び工賃等の状況

（千円）

項目		総売上げ収益額			増減（R7-R6）	増減率
		R5	R6	R7		
総売上げ収益額		7,374	8,075	7,242	△832	90%
内訳	受託事業	2,535	2,718	2,622	△96	96%
		有賀製作所、アド・プランニング、シンセイ、日精技研、ケイティケイ・アグリコ・トーハツ・木下水引				
	自主製品	1,679	1,684	1,342	△341	80%
		EMぼかし・さしみこんにやく・梅ジュース・りんごと人参のミックスジュース・切干大根・ブルーベリージャム・あんず果汁・桃果汁・あんずジャム・桃ジャム・杏シロップつけ・桃シロップつけ・柿チップ・焼き干し芋・りんごジュース・りんごチップス				
	施設外就労	3,341	3,671	3,277	△394	89%
		ケイティケイ・中日本ハイウェイ・柚木農園・りんごのきのした農園・野溝農園・とぞ和農商・七久保栗の杜・農園 雅・岩見農園・伊南資源・アグリガーデン・昭和伊南総合病院・農法なかざわ・ぱぱな農園・村上農園・赤穂南小学校・Climb farm・竜東あんば柿研究会				

利用者支給総額	7,322	8,075	6,349	△1,720	79%
一人当たり工賃（月額） （4月～8月）	19,384円	22,368円	18,696円	△3,672円	84%
イベント・販売会 地域交流	・伊那市社協（4/16 6/18）・中沢の夏まつり（8/2）・ナイスハートバザール（4/5 9/20）・ふれあい広場（9/7）・やまびこ茶屋（4/19 6/14 8/9 12/13）民生児童委員会（7/31 2/18）・福祉を考える企業の会（6/18 3/16）・伊那中央病院（4/17 5/15 1/22 2/19 3/19）・飯島朝市（6/8 7/27 9/21）・こだま園、ほほえみの家合同夏祭り（8/23）・中沢朗読劇（6/29）・どんぐり祭り（10/4）・西駒祭（10/18）・飯島ふれあい広場（10/19）・ほほえみ祭（10/25）・伊那市ふれあい広場（10/26）・中沢区文化祭（11/1）・駒ヶ根東支所軽トラック市（11/15）・希望とふれ愛事業（11/23）・飯島町社会福祉大会（1/25）・ふれあいサロン交流会（2/5）・駒ヶ根市社会福祉大会（2/15）				
行事・地域連携等	誕生日会（毎月）、昼食会（毎月第2木曜日）、暑気払い（8/1 43名）、バスハイク（4/8 4/11 10/22 46名）、防災避難訓練（6/13 33名）、合同防災訓練（9/4 2名）、クリスマス会（12/17 65名）、新年茶話会（1/5 41名）、年度末昼食会（3/16 40名）				

（３）施設外就労

施設外就労先	作業内容	期間
（株）ケイティケイ駒ヶ根工場	トナーカートリッジ再生ラインの周辺作業	通年
（株）中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋	花苗植え替え作業	年3回
農事組合法人なかざわ	柿作業	3日
（有）ぱばな農園	野沢菜収穫作業	10日
柚木農園	野菜苗植え付け、除草作業など	通年
りんごのきのした農園	野菜、果物収穫、除草作業など	通年
（株）七久保栗の杜	栗の選別作業など	10日
野溝農園	畑片付け作業・除草作業・ゴマ畑の片付けなど	通年
とざ和農商	ごま畑除草、収穫作業など	通年
村上農園	果樹の選定後の片付け作業など	5日
農園 雅	除草作業など	10日
岩見農園	除草作業など	5日
（有）伊南資源	資源物の回収	通年
アグリガーデン	畑の石拾い、人参の収穫など	5日
昭和伊南総合病院	敷地内の除草作業、環境整備	8日
竜東あんぼ柿研究会	あんぼ柿の乾燥作業	10日
赤穂南小学校	敷地内の環境整備	4日
Climb farm	ニンニク畑の除草作業	3日

（４）決算

（千円）

種 別		R5	R6	R7	増減 (R7-R6)
サービス活動収益	就労支援事業	7, 461	8, 307	7, 417	△890
	障害福祉サービス	45, 761	57, 903	54, 544	△3, 359
	補助金等	230	68	130	28
	計	53, 452	66, 278	62, 091	△4, 221
サービス活動費用計		51, 843	56, 693	46, 067	△11, 572
サービス活動増減差額		1, 609	9, 585	16, 024	6, 169

当期活動増減差額	1,050	8,817	15,686	7,350
----------	-------	-------	--------	-------

【増減の要因】 ①新商品の開発ができたが、原材料費が増えてしまった。 ②諸事情により、8/31付1名、9/30付2名退所となった。 ③施設外就労場所が増えた。 ④新規の受託作業の確保ができた。 ⑤受託作業（機械関係企業）の仕事が減少した。
【課題解決に向けた取り組み・令和8年度上半期力を入れて実施する内容】 ①今後も利用者の確保（必要に応じて）と出勤率の維持をしていく。 ②原材料費を考慮して、自主製品の増量をする。 ③受託作業の単価アップと施設外就労の時給アップの交渉をしていく。 ④実績の維持をしていく。 ⑤平均工賃2万円台になるよう努めていきたい。

2 障がい者自立支援センターたんぽぽの家（駒ヶ根市指定管理施設）

就労支援B型事業 定員20人

（１）利用実績

	R5	R6	R7
実利用者数	27人	27人	28人
実施日数	242日	242日	242日
延べ利用者数	4,461人	4,848人	4,993人
1日平均	18.5人	19.8人	20.2人
稼働率	92.5%	99%	101%



（２）事業及び工賃等の状況

（千円）

項目		総売上げ収益額			増減（R7-R6）	増減率
		R5	R6	R7		
就労支援		4,378	4,832	5,981	1,149	23%
内訳	受託事業	2,795	3,132	4,160	1,028	32%
		企業製品糸切、月刊広告配布、印刷機器パーツの洗浄・組立				
	自主製品	1,483	1,542	1,203	△339	△22%
		牛乳パックイス、手芸品、菓子、名刺、カレー販売、パン、パイ、その他不定期の売上等				
自販機売上		129	157	618	461	293%
利用者支給総額		4,378	4,800	4,952	152	3%
一人当たり工賃（月額）		19,687円	20,321円	20,432円	111円	1%
イベント・販売会・地域交流		こだま・ほほえみの家合同祭り8/23(土) ふれあい広場9/7(日)、やまびこ茶屋4/19.6/14.8/9.12/13(土) サロン交流会2/5(木)、駒ヶ根市社会福祉大会2/15(日) 昭和病院ほほえみ祭10/25(土)、希望とふれ愛の事業11/23(日)				
行事・地域連携等		お花見外出4/14(日)・紅葉狩り11/14(金)・11/20(木) 仕事納め昼食12/29(月)				
施設整備		6月 送迎車両購入				

(3) 決算

(千円)

種 別		R5	R6	R7	増減(R7-R6)
サービス活動収益	就労支援事業	4,714	5,073	5,490	417
	障害福祉サービス	36,002	41,250	42,619	1,369
	補助金等	230	50	130	80
	計	40,946	46,373	48,239	1,866
サービス活動費用計		37,572	42,804	36,574	△6,230
サービス活動増減差額		3,373	3,569	11,665	8,096
当期活動増減差額		691	1,140	11,073	9,933

【増減の要因】

- ・新規利用者確保
- ・市や新規企業からの受託作業の積極的受け入れ
- ・安定的な利用継続のため長期欠席時は訪問を行い、訪問時特別支援加算の算定を行った

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力をいれて実施する内容】

- ・イベントの充実化、利用者のリフレッシュを図る
- ・自主製品の新規開拓や販路拡大
- ・書類の整理を行い、業務の効率化を図る。
- ・収入や支出の見直しを行い、利用者工賃の原材料費支出など、工賃計算の適正化
- ・個別支援計画、支援会議を強化し、支援方法の共有・周知

【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

- ・新規利用者獲得のため、上伊那圏域自立支援協議会や研修などへ積極的に参加し、情報交換を実施・周辺相談支援事業所へ利用者増減の周知
- ・他施設での受け入れ困難者の柔軟な受け入れを行う
- ・自主製品の販路拡大

3 指定特定相談支援事業所たんぽぽ

障がいのある方が障がい福祉サービスを利用する事で、希望する援助によって解決すべき課題について取り組む事が出来る様に、援助体制の構築や計画作成支援をした。

(1) 利用実績

	R5	R6	R7
計画件数計	249件	276件	274件
障がい（利用支援）	78件	84件	85件
障がい（継続支援）	176件	188件	186件
児童（利用支援）	2件	3件	1件
児童（継続支援）	3件	1件	2件

**(2) 決算（事業活動計算書）**

(千円)

種 別	R5	R6	R7	増減 (R7-R6)
サービス活動収益	4,020	4,329	4,439	110

サービス活動費用計	3,454	3,950	4,051	101
当期活動増減差額	566	△82	△266	△184

【増減の要因】

- ・解約が7件あったが、新規利用でほぼ横ばいの数値となっている。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】

- ・更なる事例への対応力の向上を行い、地域の課題を捉えて連携体制の構築を図る。
- ・このところ毎年の事であるが、相談支援事業所が経営難から事業撤退している現状がある。社協としては、事業継続が出来る仕組みづくりに力を入れていく必要性も高い。
- ・今年度の駒ヶ根社協の事業目標を達成する為に、利用者を制限するのではなく支援をする事で充実感や喜びの得られる関わり方を目指して活動をしていきたいと考えている。

【地域連携】

- ・地域と、事業継続・地域課題の把握・連携体制について話し合う場を設けていく。
- ・相談の多いこころの医療センター駒ヶ根と、年1回は情報交換の場を設けていく。
- ・相談支援としての繋がり、担い手の少ない仕事紹介を就労継続支援に繋げていく。

4 障がい者センター高砂園（駒ヶ根市指定管理施設）

地域活動支援センターの活動のほか、サークル活動への支援、貸館手続き、日常の相談業務
市からの委託料 9,000千円

（1）利用実績

事業内容	R5	R6	R7
地活等利用団体数	594団体	726団体	166団体
サークル等利用人数	5,611人	5,377人	4,842人
貸館等利用団体数	47団体	53団体	85団体
地域活動支援相談数	1,646件	2150件	17件



【増減の要因】

- ・市の指定管理の要望に適した評価方式に変えられるよう、新たな枠組みへ組み替えていることが理由として挙げられると考えます。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】

- ・地域活動支援センターとして、来年の運営に活かせるテストケースを実施する。
- ・障がい者センターとして、使いやすい施設を考えて館内整備を行っていく。
- ・地域交流の目的を考え、どのように交流を深めていくかの検討を行う。

【地域連携】

- ・地域の力を活かした地域活動支援センターの構築を図っていく。
- ・地域の避難所にもなっているので、地域との交流を行っていく。

【施設整備】

- ・エアコン設置 ・玄関ポーチ修繕 ・トイレ修繕 ・看板修繕 ・館内外環境整備

5 障がい者居宅介護等事業

「V 介護保険事業」－「1 ふれあい訪問介護事業所」 に記載

6 同行援護事業 視覚障害者世帯 月平均 1(2)世帯 延利用者数 23回(47回)



7 行動援護事業 0世帯 (0世帯)

8 地域支援事業 (障がい者の移動支援)

・月平均 0世帯 延べ利用者回数 0回 (0回)

9 グループホームいなほ

介護サービス包括型共同生活援助 定員6名 女性のみ

(1) 利用実績

延べ利用者数			1日利用者数			稼働率			平均支援区分		
R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
2,068人	1,961人	2,041人	5.6人	5.4人	5.6人	94.3%	89.5%	93.0%	2.28	2.7	2.3

年間行事の状況	両GH合同利用者家族職員食事会 (5/16・3/7) 両GH合同バーベキュー (4/29) 合同夏祭り (8/23) 紅葉ドライブ (9/30) クリスマス会 (胃腸炎感染の為に中止) 買い物外出・誕生日会・入居者・職員ミーティング (毎月)
地域交流	いなほ地域運営推進会議 (6/13) 地域ボランティアさんによる草刈り庭木の剪定 (季節に3~4回)
防災避難訓練	上半期1回実施 (9/23) 下半期1回実施 (3/7)

(2) 決算 (事業活動計算書)

(千円)

種 別	R5	R6	R7	増減(R7-R6)
サービス活動収益	14,440	13,052	13,287	235
サービス活動費用計	13,189	13,395	14,385	990
サービス活動増減差額	△1,251	△543	△1,098	△555
当期活動増減差額	1,254	△538	△1,093	△560

【増減の要因】

・入居者1名4月から入院、6月の退居に伴う空床により1か月分の減収となった。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度力を入れて実施する内容】

- ・区分変更等心身状況に合った給付費の適正化。
- ・入居者様の体調管理の継続による空床ゼロ。
- ・個々の「夢の充実」に力を入れる。
- ・入居者様の自立に向けた取り組み (休日の朝食作り・お掃除等)

【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

・令和8年度、休日の朝食作り・お掃除等利用者様の自立支援を推進し、土曜日の早番勤務をなくす取り組みによる人件費削減を目指します。また、今後日曜日についても状況をみつつ拡大していきます。

10 グループホームほほえみの家

介護サービス包括型共同生活援助 定員7名 男女混合

(1) 利用実績



延べ利用者数			1日利用者数			稼働率			平均支援区分		
R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
2,345人	2,455人	2,368人	6.4人	6.7人	6.5人	91.7%	96.1%	92.5%	2.3	2.4	2.3

年間行事の状況	両GH合同利用者家族職員食事会（5/16・3/7） 両GH合同バーベキュー（4/29） 合同夏祭り（8/23） 紅葉ドライブ（9/30）クリスマス会（胃腸炎感染の為中止） 買い物外出・誕生日会・入居者・職員ミーティング（毎月）
地域交流	大原こだま園合同地域連携運営推進会議（6/17） 大原こだま園合同夏祭り（8/23） 福岡区高齢者クラブ福寿会の方々による環境整備作業（9/20） 福岡区災害時応援協定書締結（毎年自動更新）
防災避難訓練	上半期実施 大原こだま園合同防災避難訓練（9/23） 下半期実施（3/7）
施設整備	コピー機更新

（２）決算（事業活動計算書）

（千円）

種 別	R5	R6	R7	増減(R7-R6)
サービス活動収益	16,372	15,817	15,411	△406
サービス活動費用計	12,572	13,857	14,901	1,044
サービス活動増減差額	3,800	1,960	510	△1,450
当期活動増減差額	3,747	1,632	238	△1,394

【増減の要因】

- ・入居者1名、4月に入院・退去に伴う空床により減収となった。

【課題解決に向けた取り組み・令和8年度に力を入れて実施する内容】

- ・区分変更等心身状況に合った給付費の適正化。
- ・入居者様の体調管理の継続による空床ゼロ。
- ・個々の「夢の充実」に力を入れる。
- ・入居者様の自立に向けた取り組み（休日の朝食・お掃除など）



【増収・経費削減に向けた新たな取り組み】

- ・令和8年度、休日の朝食作り・お掃除等利用者様の自立支援を推進し、土曜日の早番勤務をなくす取り組みによる人件費削減を目指します。また、今後日曜日についても状況をみつつ拡大していきます。